

令和 4 年

安全功勞者内閣総理大臣表彰

令和 4 年 7 月 1 日

内閣府大臣官房総務課

## 令和4年安全功労者内閣総理大臣表彰受賞者名簿

(分野別五十音順)

### (交通安全関係)

#### [個人]

伊藤 秀利	(国土交通省)
北島 益美	(内閣府)
郷原 邦敏	(内閣府)
佐藤 正良	(警察庁)
佐藤 由美子	(警察庁)
鈴木 重良	(警察庁)
村松 稠敏	(警察庁)
矢野 和己	(警察庁)
吉川 正利	(警察庁)

#### [団体]

西会津町交通安全母の会	(内閣府)
御幸学区交通安全自治会	(内閣府)

### (学校安全関係)

#### [団体]

秋田県大仙市立平和中学校	(文部科学省)
群馬県嬭恋村立西部小学校	(文部科学省)
高知県立大方高等学校	(文部科学省)
長野県長野市立信里小学校	(文部科学省)
北海道浦河高等学校	(文部科学省)
山口県山陽小野田市立高千帆小学校	(文部科学省)

**(産業安全関係)**

〔個人〕

飯田 光明

(経済産業省)

**(火災予防関係)**

〔個人〕

葛貫 郁子

(消防庁)

前川 典子

(消防庁)

六角 篤

(消防庁)

〔団体〕

公益社団法人仙台市防災安全協会

(消防庁)

竹二地区婦人防火クラブ

(消防庁)

日東化成株式会社 尼崎工場

(消防庁)

## 功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
氏 名	いとう ひでとし 伊 藤 秀 利
住 所	静岡県下田市
主 要 経 歴 等	主任海上安全指導員
功 績 の 概 要	昭和49年から47年の長きにわたり、安全パトロール及び訪船指導等を積極的に行うとともに、安全啓発活動を通じて、小型船舶の安全運航や海難防止思想の普及・高揚に尽力し海上保安業務に多大な貢献をした。

## 功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名	きたじま ますみ 北 島 益 美
住 所	和歌山県和歌山市
主 要 経 歴 等	和歌山県交通安全母の会連絡協議会会長
功 績 の 概 要	<p>昭和60年から37年間の長期にわたり、交通安全母の会の会員として、日々、通学路の街頭指導や高齢者に対する交通安全指導など地域の交通安全ボランティア活動に熱心に取り組んでいる。</p> <p>平成15年4月に和歌山北地区交通安全母の会会長、平成19年7月には和歌山県交通安全母の会連絡協議会会長に就任し、交通ボランティアのリーダーとして、年4回の交通安全運動行事をはじめ、県・市・地域の交通安全関係の諸事業に積極的に取り組み、交通安全活動のまとめ役として、社交的な人柄と交通事故防止に対する熱意を持って、リーダーシップを遺憾なく発揮し、県内全域の交通安全思想の普及・啓発に大きく貢献している。</p>

## 功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名	ごうはら くにとし 郷 原 邦 敏
住 所	岡山県倉敷市
主 要 経 歴 等	倉敷交通安全協会副会長
功 績 の 概 要	<p>昭和54年4月、岡山県警察本部長から、交通ボランティアである交通警察補助員に委嘱され、以来平成30年3月に定年のため解嘱された後も今日に至るまで風雪寒暑をいとわず、毎日小・中・高校生等が通学する地域中心部において、付近道路を通学（園）する児童・生徒等の見守り・保護誘導活動及び交通指導を行い、悲惨な交通事故を起こさない・起こさせないという情熱を常に保持し安全指導を行っており、その姿等は地域住民から慕われ信頼が厚く、深く感謝されている。</p> <p>また、高齢者の交通事故防止活動についても積極的に行い、反射材等の普及活動のほか、高齢者を対象とした自転車安全教育を行うなど、高齢者の交通事故防止に多大な貢献をしている。</p>

## 功 績 概 要

[交通安全関係]

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	さとう まさよし 佐 藤 正 良
住 所	北海道札幌市
主 要 経 歴 等	白石地区安全運転管理者協会会長
功 績 の 概 要	平成元年に白石地区安全運転管理者協会理事に就任し、平成13年には白石地区安全運転管理者協会の会長に就き現在までの21年間にわたり、傘下会員とともにパトライト作戦・街頭啓発・安全大会等の交通安全活動に積極的に参加して会員や地域住民の交通安全意識高揚を図るなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及に多大な貢献をしている。

## 功 績 概 要

[交通安全関係]

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	さとう ゆ み こ 佐 藤 由 美 子
住 所	埼玉県新座市
主 要 経 歴 等	新座市交通安全母の会会長
功 績 の 概 要	昭和55年4月に新座市交通安全母の会に入会し、平成3年4月からは同会会長として、「交通安全は家庭から」を合言葉に、一貫して母親の立場からの交通事故防止のための広報啓発活動を行っており、交通事故防止及び交通安全思想の普及に多大な貢献をしている。



## 功 績 概 要

[交通安全関係]

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	すずき しげよし 鈴木 重 良
住 所	山形県東田川郡庄内町
主 要 経 歴 等	元庄内地区交通安全協会会長
功 績 の 概 要	<p>昭和50年に余目地区交通安全協会狩川支部の青年部長に選任されて以来、同協会の理事、副会長等を歴任し、平成27年から令和元年までの4年間は、会長として、会の運営や交通安全活動の企画立案に携わった。</p> <p>町の交通指導員としても、長年にわたって精力的に活動し、朝の街頭指導や地域の交通安全行事を通じた啓発活動によって、交通事故防止に多大な貢献をした。</p> <p>令和元年に会長を退任したが、現在も交通指導員として、立川駐在所員とともに朝の街頭活動を通じた児童の見守り活動を継続しており、交通事故防止に努めている。</p>

## 功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	むらまつ しげとし 村 松 稔 敏
住 所	東京都町田市
主 要 経 歴 等	町田交通安全協会会長
功 績 の 概 要	<p>昭和61年4月、町田交通安全協会に入会以来、36年余の長きにわたり積極的に交通安全活動に尽力しているもので、平成22年4月推されて町田交通安全協会会長に就任し、一般財団法人東京都交通安全協会理事を兼務している。地域住民の交通安全意識の普及、浸透及び交通安全施設の改善に力を注ぎ、交通事故防止に貢献しており、その積極的な活動は他の模範となっている。</p>

## 功 績 概 要

[交通安全関係]

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	や の かずみ 矢 野 和 己
住 所	福岡県北九州市
主 要 経 歴 等	小倉南交通安全協会理事兼監事
功 績 の 概 要	昭和55年から現在に至るまで、42年の長期にわたり、学童等の通学路における保護誘導活動を実施するとともに、地域の中학생や高校生に対して自転車の安全利用に向けた指導を実施するなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。

## 功 績 概 要

[交通安全関係]

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	よしかわ まさとし 吉 川 正 利
住 所	奈良県葛城市
主 要 経 歴 等	奈良県安全運転管理者協会会長
功 績 の 概 要	<p>昭和57年から安全運転管理者に従事し、平成14年には地区安全運転管理者協会会長に就任、平成25年5月からは、県安全運転管理者協会会長に就任し、約40年間安全運転管理業務を行っている。</p> <p>事業所の安全運転管理者として日々の社内教養はもとより、地区会長、県会会長を歴任し、県域に及ぶ交通安全づくりに建設的に取り組み、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	内 閣 府
名 称	にしあいづまちこうつうあんぜんははのかい 西会津町交通安全母の会
所 在 地	福島県耶麻郡西会津町
代 表 者	に っ た さ ち え 会 長 新 田 幸 恵
功 績 の 概 要	<p>西会津町交通安全母の会は、本会ほか5つの分会からなる連合組織で、地域に密着した交通安全活動により交通モラルの向上と交通事故防止の啓発を積極的に推進しており、小学校・保育所等での交通安全教室での交通安全指導、毎月1日と交通安全運動実施期間中の防災行政無線及び街頭での広報活動、交通安全ふれあいキャンペーン等への協力、高齢者世帯へ交通安全呼びかけの年賀状送付などの活動を続けており、その功績は多大である。</p>

## 功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	内 閣 府
名 称	みゆきがつくこうつうあんぜんじちかい 御幸学区交通安全自治会
所 在 地	広島県福山市
代 表 者	まつもと はるお 会長 松 本 晴 男
功 績 の 概 要	<p>昭和35年、通勤車両や工事関係等の車両通行台数が急激に増え、交通事故も日増しに増加する状況の中、交通事故の防止と交通安全に対する意識の高揚を目的として、地元有志により御幸学区交通安全自治会を発足、以来あらゆる機会を通じ、子供から高齢者に至るまで地元住民の交通事故防止のため、啓発活動や街頭指導、キャンペーンなどの活動を続けており、その功績は多大である。</p>

## 功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
名 称	あきたけんだいせんしりつへいわちゅうがっこう 秋田県大仙市立平和中学校
所 在 地	秋田県大仙市
代 表 者	みうら たけのぶ 校長 三 浦 健 誠
功 績 の 概 要	<p>「学校教育目標『すこやかに むつましく 学びの道に あしたをきずく』」の下、ふるさとや地域に寄与できる生徒の育成を目指し、保護者や地域と一体となった「守りと攻めの防災教育」を学校教育の柱に据えて安全教育の推進に多大な貢献をした。生活安全においては、生徒主体、保護者及び関係機関との連携により心の安定と安全な生活環境づくりを進めた。また、交通安全においては、関係機関との連携による通学路合同安全点検、自転車利用ヘルメット着用励行などにより安全の確保と意識の啓発を図った。とりわけ、災害安全においては、地域に貢献する中学生を目指した「避難所開設訓練」や生命を尊重し、思いやりの心を育む「被災地との交流活動」を令和3年度も継続実施するなど、安全教育の推進に係る県内外への影響及び貢献は大きい。</p>

## 功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
名 称	ぐんまけんつまごいそんりつせいぶしょうがっこう 群馬県嬭恋村立西部小学校
所 在 地	群馬県吾妻郡嬭恋村
代 表 者	こいけ ひろき 校長 小 池 裕 生
功 績 の 概 要	<p>教育目標「思いやりの心をもち、自ら学び、健康でたくましく、生き生きと輝く児童の育成」の下、笑顔で学校生活を送れる安心、安全な学校づくりを目指している。交通事故防止に関しては、年1回ではあるが、安全主任を中心に職員全員が、担当する地区まで児童と一緒に下校（8割がスクールバスを利用）しながら通学路の点検を実施している。新入生に対して警察と地域安協婦人部の協力により講話（紙芝居）を実施、4年生に対して自転車の乗車講習（講師は長野原署交通課職員）を行っている。昭和44年からの2ヶ年の県教委指定「交通安全教育」を受け、昭和45年には自転車部を設立し、「子供自転車大会」への出場に向けた活動が始まった。現在、全国大会29回連続出場を含む、40回の全国大会出場を果たしている。</p>



## 功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
名 称	こうちけんりつおおがたこうとうがっこう 高知県立大方高等学校
所 在 地	高知県幡多郡黒潮町
代 表 者	まさき としまさ 校長 正 木 敏 政
功 績 の 概 要	<p>学校安全計画に基づき防災を中心に学校安全の3領域の取組を着実に進めている。特に、南海トラフ地震の想定において最大津波高34メートルとされた地域に学校が立地していることから、地元黒潮町や地域住民、保育所・小学校・中学校等と連携した防災教育の取組を行っている。特に、黒潮町が掲げる「犠牲者0」の思想を実現するために地域との連携を深め、「未来の『地域の創り手』」人材の育成を目指し、大学・行政機関・地区防災組織・福祉施設等と連携して防災教育を展開し、被災地の高校や、大学の留学生との交流なども行い、多方面にわたり幅のある取組を展開している。</p>

## 功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
名 称	ながのけんながのしりつのぶさとしょうがっこう 長野県長野市立信里小学校
所 在 地	長野県長野市
代 表 者	おおた ゆういち 校長 大 田 裕 一
功 績 の 概 要	<p>昭和55年から平成25年の33年間、地域消防団との連携による「防火防犯ポスター展」の開催と「防火防犯学習」を開催してきた。平成26年度より、長野県学校防災アドバイザーの指導のもと、防災（災害）安全教育を重点に置き、『子どもがつくる防災マップ（電子地図）』づくり、地域住民と連携した「子どもが地域・保護者とともに学ぶ防災教室」を始めた。また、防災安全学習のカリキュラムの構築を目指し、5ヶ年計画で進め、今年度は8年目の取り組みを推進している。</p> <p>学校教育目標「思いやりの心の育成」「安全・安心な学校作り」「地域と連携」のもと、児童・保護者は、東日本大震災時の避難所の様子を知り、学校防災アドバイザーから教わったり、避難所の備品や設備を利用する疑似体験をしたりして、避難所生活での自助・公助について考えた。また、地域住民は、防災備蓄用具の点検と避難所（信里小体育館）開設の手順について、長野市危機管理防災課職員の指導から実践した。</p> <p>これらの防災（災害安全）教育を毎年計画・実践してきたことで、土砂災害危険区域が複数ある信里地区の児童・保護者、地域住民の危機意識と危機対応について推進してきた。</p>

## 功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
名 称	ほっかいどううらかわこうとうがっこう 北海道浦河高等学校
所 在 地	北海道浦河郡浦河町
代 表 者	さいとう たけひろ 校長 齊 藤 雄 大
功 績 の 概 要	<p>学校教育目標「物事をよく見て理解し、自ら考え正しく判断するとともに、主体的・協動的に探究し行動することができる生徒」「自他の人権や生命を敬い尊重する精神を持ち、多様性を認め合いよりよい人間関係を形成することができる生徒」「望ましい自己実現のため不断に資質・能力の向上に努め、豊かな地域づくりに参画しようとする意欲を持つ生徒」の下、目指す生徒像の実現に向け、地域の関係機関との連携による防災授業（「災害図上訓練」、「避難所運営ゲーム」）、浦河町との連携による「防災キャンプ」において、参加者（小学生）のまとめ役である防災・ボランティア青少年リーダーとして参加するなど、防災教育、減災教育を推進している。また、「1日防災学校」（総合避難訓練）を開催し、多様な災害へ対応する訓練を実施するなど、全校的に防災・減災意識を涵養している。</p>

## 功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
名 称	やまぐちけんさんようおのだしりつたかちほしょうがっこう 山口県山陽小野田市立高千帆小学校
所 在 地	山口県山陽小野田市
代 表 者	しもせ まさみ 校長 下 瀬 昌 巳
功 績 の 概 要	<p>学校教育目標「ふるさとを愛し、豊かな人間性とたくましい実践力をもち、主体的に生きる児童の育成」のもと、「つながり合う学校」をめざし、学校・家庭・地域が一体となって取り組む学校安全への取組を推進している。各種有事に備えた緊急連絡体制やマニュアルの整備及び周知による協働体制の構築、高千帆校区セーフザピープルや地域活動おのだ T・C、自治会協議会、自主防災組織、警察などと連携した、校区の見守り活動、地区防災訓練への参加などの活動を実施している。また、児童、教職員、保護者が共に集団下校を行い、通学路の安全確認を実施すると共に安全マップを作成し、掲示している。さらに、本校のチャレンジ目標「あいさつ」「黙働・黙動」「0分スタート」と毎日実施している集団登校の指導をリンクさせている。集合時刻を守り、一列に整然と並んで歩く姿、地域の方やドライバーへの感謝の気持ちを表す会釈など、子どもたちの姿で地域全体の安全意識を高めることができている。このように、家庭、地域の各種団体、関係機関との連携を日常的に強めることで、地域の危機管理意識を高めることができている。</p>

## 功 績 概 要

〔産業安全関係〕

関 係 省 庁	経 済 産 業 省
氏 名	いいだ みつあき 飯 田 光 明
住 所	茨城県つくば市
主 要 経 歴 等	公益社団法人全国火薬類保安協会技術参事 産業構造審議会保安・消費生活用製品安全分科会 火薬小委員会委員
功 績 の 概 要	<p>昭和55年に通商産業省工業技術院化学技術研究所（現 国立研究開発法人産業技術総合研究所）に入所して以降、一貫して火薬類を始めとする高エネルギー物質の爆発性、危険性等の研究開発を行っている。また、これまで培ってきた知見や豊富な経験をもとに、公益社団法人全国火薬類保安協会技術参事並びに産業構造審議会保安・消費生活用製品安全分科会火薬小委員会委員として、火薬類取締法の技術基準策定に深く関与し、火薬類に関する保安確保、事故の減少に大きく寄与するなど、火薬類保安行政に対して多大な貢献を果たしている。</p>

## 功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	くずぬき いくこ 葛 貫 郁 子
住 所	栃木県佐野市
主 要 経 歴 等	佐野市女性防火クラブ会長
功 績 の 概 要	<p>平成6年、旧田沼町婦人防火クラブに入会し、平成13年、同クラブ副会長に就任、旧田沼町において豊富な経験と識見及び卓越した指導力により会の育成発展に尽力した。</p> <p>平成17年、佐野市女性防火クラブが発足し、会計に就任、翌平成18年、同クラブ会長に就任した。地域住民の信頼も厚く、「家庭防火」「防火思想の向上」を積極的に図るとともに、「住宅火災における被害軽減」を主眼とした活動を展開している。さらに、平成18年より栃木県婦人防火クラブ連合会の役員に就任するなど、長きにわたり地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。</p>

## 功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	まえかわ のりこ 前 川 典 子
住 所	北海道河東郡音更町
主 要 経 歴 等	北海道女性防火クラブ連絡協議会会長
功 績 の 概 要	<p>平成10年4月1日に音更婦人防火クラブ（現音更町女性防火クラブ）に入会後、率先して地域の防火活動に参加し、平成20年4月には同会長に就任、町内の店舗などで住宅用火災警報器設置促進活動を積極的に行い、平成25年4月には北海道婦人（女性）防火クラブ連絡協議会十勝支部支部長に就任、併せて北海道婦人（女性）防火クラブ連絡協議会委員に選任された。その後も積極的な啓発活動が各委員等から評価され、平成28年11月には同会長に就任した。就任後、女性防火クラブの名称変更を行い、北海道の女性防火クラブの指導者として、各種研修会への積極的な参加、住宅用火災警報器の普及促進、維持管理に係る啓発活動など、家庭における火災予防の普及徹底並びに防火思想の向上を図り、北海道の安心安全の普及に、多大な貢献をしている。</p>

## 功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	ろっかく あつし 六 角 篤
住 所	福島県郡山市
主 要 経 歴 等	郡山地方消防防災協会副会長
功 績 の 概 要	<p>郡山地方消防防災協会の副会長をはじめ社会貢献に関わる多くの団体の役職を兼任し、福島県及び郡山地方の地域防災力の向上について多大な貢献をしている。</p> <p>郡山地方消防防災協会の開催する各種会議、各種行事及び研修会を催し、積極的に火災予防思想の普及に努めている。また火災予防運動等において住宅用火災警報器の設置、普及を強力に推進するとともに、老朽化消火器を現在まで延べ1万2千本程を回収するなど、地域の安心安全の向上に活躍している。</p> <p>さらに「防災の集い」では、県内各地から多くの来場者を迎え、防災意識の高揚を図るとともに視察研修を実施し、事業所等の自主防災体制の確立に尽力する等、安全な地域社会の形成に、多大な貢献をしている。</p>



## 功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	こうえきしゃだんほうじんせんだいしぼうさいあんぜんきょうかい 公益社団法人仙台市防災安全協会
所 在 地	宮城県仙台市
代 表 者	ふじさき さぶろうすけ 理事長 藤 崎 三 郎 助
功 績 の 概 要	<p>市民の防火防災思想の普及高揚を始め、防災業務関係者の育成・支援等を行うことにより、地域社会の安全と福祉増進に寄与することを目的として、昭和63年3月に社団法人仙台市防災安全協会として設立した。</p> <p>設立以来、常に環境の変化に即応し、市民、事業所及び行政との有機的な連携を図りながら、市民の防火防災思想の普及高揚及び災害対応力向上のための事業、市民の暮らしの安全を確保するための各種講習事業を積極的に展開してきた。</p> <p>これら公益目的事業を通じて、市民の防火防災意識の向上や事業所、危険物施設等の自主防災体制の確立を図るなど、安心・安全なまちづくりに大きく貢献している。</p>

## 功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	たけにちく ふじんぼうかくらぶ 竹二地区婦人防火クラブ
所 在 地	長崎県長崎市
代 表 者	まえかわ き く こ 代表 前 川 喜 久 子
功 績 の 概 要	<p>昭和56年10月26日竹二自治会内の全家庭における火災予防の推進と防火思想の普及啓発を目的に結成以来、住宅防火対策の重要性を認識し、消火器や住宅用火災警報器の普及に尽力するとともに、地域の消防団や自治会と連携して消火器の取扱訓練等を実施し、初期消火技術の向上を図り、地域の火災予防に積極的に取り組んでいる。</p> <p>また、消防出初式、婦人防火クラブ幹部研修会、市民防火のつどい等の各種行事にも積極的に参加し、消防機関との連携強化を図るとともに、AEDの使用方法を含めた救急講習会等へも定期的に参加するなど、幅広い活動を展開し地域住民の防火意識の高揚に尽力している。</p>

## 功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	にっとうかせいかぶしきがいしゃ あまがさきこうじょう 日東化成株式会社 尼崎工場
所 在 地	兵庫県尼崎市
代 表 者	いけだ まさとし 工場長 池田 昌利
功 績 の 概 要	<p>日本の化学製品メーカーを牽引する事業所であるとともに、環境安全及び法令遵守に細心の注意を払うことで企業の社会的責任を果たしている。</p> <p>特に、防火防災対策については、積極的に訓練等を実施するなど、日々防火防災管理の徹底及び自衛消防活動の充実に努めている。</p> <p>また、危険物の保安に関しては、法令遵守はもとより製造設備等の安全強化、危険物取扱者の養成に努めるなど、他の事業所の模範となる取り組みを進めている。</p> <p>行政が推進する防火防災事業にも積極的に参画するとともに、尼崎市内の事業所により構成されている尼崎市防火協会の会員として地域防災力の向上にも貢献している。</p>

(連絡先)

内閣府大臣官房総務課管理室

〒100-8914

東京都千代田区永田町1-6-1

TEL 03-5253-2111 (内31221)